

「スマート農業実証プロジェクト」実施中！

我が国の農業が抱える高齢化、人手不足の課題。これを解決する大きな鍵となるのが、ロボット、AI、IoT など先端技術を活用した「スマート農業」です。

「スマート農業実証プロジェクト」は、スマート農業の社会実装を加速化するため先端技術を生産現場に導入して技術実証を行い、技術の導入による経営への効果を明らかにするもので、東北地域では令和元年度から令和3年度までに22か所で取り組んでいます。東北農政局ホームページでは、実証農場の取組内容や成果、プロジェクトに参加する農業者のインタビュー動画「現場の声～農業者REALVOICE～」を公開しています。ぜひ御覧ください！

(<http://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/smart/index.html>)

東北地域スマート農業実証プロジェクト実施地区

青森

1 (株)十三湖ファーム (中泊町)

2 おとべ農産合同会社 (東北町)

11 もりやま園(株) (弘前市)

秋田

6 農事組合法人たねっこ (大仙市)

7 園芸メガ共同利用組合 (男鹿市)

山形

8 (株)沼澤農園 (尾花沢市)

20 多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム

22 輸出用果実長期品質保持実証コンソーシアム (山形県、山梨県)

福島

9 (株)紅梅夢ファーム (南相馬市)

10 (株)アグリ鶴谷 (南相馬市)

14 (株)新妻有機農園 (広野町)

15 (株)いわき花匠 (いわき市)

17 (一社)とみおかフインドメニュー (富岡町)

18 (株)吉野家ファーム福島 (白河市)



事業実施期間

◆ 1～10：令和元年度～令和2年度

● 11～15：令和2年度～令和3年度

○ 16～18：令和2年度

■ 19～22：令和3年度～令和4年度

作物

水田作・畑作

野菜

果樹

花き

岩手

3 (株)アンドファーム (岩手町)

12 (株)西部開発農産 (北上市)

宮城

4 (有)アグリドなるせ (東松島市)

5 仙台ターミナルビル(株)荒井事務所 (仙台市)

13 農事組合法人いかずち (加美町)

16 (株)イグナルファーム大郷 (大郷町)

(株)宮城フラワーパートナーズ (加美町)

19 宮城パブリカスマート商流コンソーシアム

宮城・秋田・岩手

21 東北地域タマネギ生産連携コンソーシアム

資料：東北農政局

現場の声 ～農業者REALVOICE～

東北地域からは現在10本の動画を公開中。「自動操舵システムにより、非熟練者でも熟練者並の作業ができた」「ドローンでのリモートセンシングの結果を可変施肥に反映し、生育むらがなくなった」など、スマート農業に取り組む農業者の声をお届けしています。



もっと身近に！スマート農業～スマート農業推進フォーラム2021in東北～を開催しました

令和3年10月27日(水)、28日(木)の2日間にかけて、仙台国際センター及びオンラインにて「もっと身近に！スマート農業～スマート農業推進フォーラム2021in東北～」を開催し、生産者、企業、行政機関など延べ305名の参加がありました。

セミナーでは「スマート農業実証プロジェクト」参加者からの導入効果の紹介、「スマート農業」実践者からの講演、スマート農業技術に関する研究成果報告、「みどりの食料システム戦略」の策定に係る情報提供が行われました。また、企業ブースでは、各企業から実用化されているスマート農機の紹介があり、各ブースにおいて来場者との意見交換が行われました。セミナー参加者からは、「スマート農業の取組者から生の声が聞けて参考になった」「現段階のスマート農業について可能性と課題を感じることもできた」等の声がありました。



企業による
技術展示



セミナーの様子

◇ 東北におけるスマート農業に関する情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。
(<http://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/smart/index.html>)

上記紙面の問合せ先：東北農政局 生産部 生産技術環境課 022-221-6214



高病原性鳥インフルエンザの防疫の徹底を!!

- ◎ 防鳥ネットや壁に穴はあいていませんか?
- ◎ 家きん舎の周辺・出入口の消毒を確実に実施していますか?

令和3年11月、秋田県内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザ(今シーズン国内1例目)が発生しました。防疫対策として、家きんへのウイルス感染防止をすることが益々重要となります。

家きん舎の周囲には、ウイルスの侵入経路が多く存在しますので、人、車両、野生動物を媒介としたウイルスの侵入防止を図るため、今一度、点検・確認をお願いします。

鳥インフルエンザに関する情報はコチラ

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止!

現在、国内において豚熱の発生が確認されています。近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱に関する情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱に関する情報はコチラ
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



統計情報

◆作物統計調査 令和3年産水稲の作付面積及び予想収穫量(10月25日現在)(東北)を公表しました

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/toukei/seiryu/211109.html>



◆まふナビ東北Vol.5「野菜の生産量」～農林水産統計調査結果のミニ分析～

<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/bunseki/maffnabi.html>



◆◆◆ 農政トピックス ◆◆◆

◆ BUZZ MAFF (ばずまふ) ～東北から発信!～

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなり、農山漁村の魅力を発信するBUZZMAFF(ばずまふ)では、現在、東北農政局から「だいちとみどりの探検隊」と「あなたの知らない東北」が発信中です。



https://www.maff.go.jp/tohoku/kohou/buzzmaff_tohoku.html



BUZZ MAFF Channelの登録&動画に「いいね」をよろしくお願ひします ▶



↑目的の二次元バーコードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元バーコードを隠した状態で読み込んでください。

農村振興部から取組事例紹介

山村活性化支援交付金

＜農山漁村振興交付金(山村活性化対策)＞

山村の活性化を図るため、山村の特色ある地域資源の活用等を通じた所得・雇用の増大を図る取組を支援します。

1. 山村活性化対策事業(地域資源の潜在力を再評価し、地域ぐるみで活用するためのソフト活動を支援)

- ◆対象地域: 山村振興法に基づき指定された振興山村 ※山村振興計画が策定されていること
- ◆事業実施主体: 市町村等 ◆交付率: 定額(1地区当たり上限1,000万円) ◆実施期間: 上限3年

2. 商談会開催事業(バイヤーとの商談会やWEBサイトを用いたマッチング等を開催し、販路開拓を支援)

- ◆事業実施主体: 民間企業等 ◆交付率: 定額 ◆実施期間: 1年

事業実施主体

【西川町】

山菜きのこを活用した商品開発

H30～R2年度実施
(山形県西川町)

町の「顔」である山菜きのこの生産量の確保、また地域資源の消費拡大等による町内産業の振興を図る取組。山菜きのこ関連で多くの商品開発を行い、山菜きのこ直売所等での販売額の増加、雇用者数の増加へと繋がった。

◆取組内容

- ・タラノメの促成栽培実験、耕作放棄地でのネマガリダケ等の試験栽培
- ・山菜きのこのマーケット調査及び商品開発
- ・出荷困難農家の出荷推進に向けた仕組みづくり
- ・地ビールの搾りかすを飼料とした地ビール豚の開発
- ・県内・仙台圏でのイベント等の参加によるPR活動 等



きのこ栽培講習会



商品開発(月山筍 Pasta)

全国の取組事例は、農林水産省ホームページからご覧いただけます。<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sanson/s-zirei/zirei.html>

山村活性化支援交付金に関する詳しい情報については、農林水産省ホームページをご覧ください。
https://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sanson/s_sesaku/sesaku.html#yosan
問合せ先: 東北農政局農村振興部農村計画課 電話: 022-263-1111(内線4059)



◆「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆「食・農ひとくち情報」の問合せ先: 東北農政局企画調整室支援チーム

022-263-1111(内線4404、4403)

